

JOYO BANK NEWS LETTER

2022年9月28日

J-クレジット購入選択権付私募債の取り扱い開始について

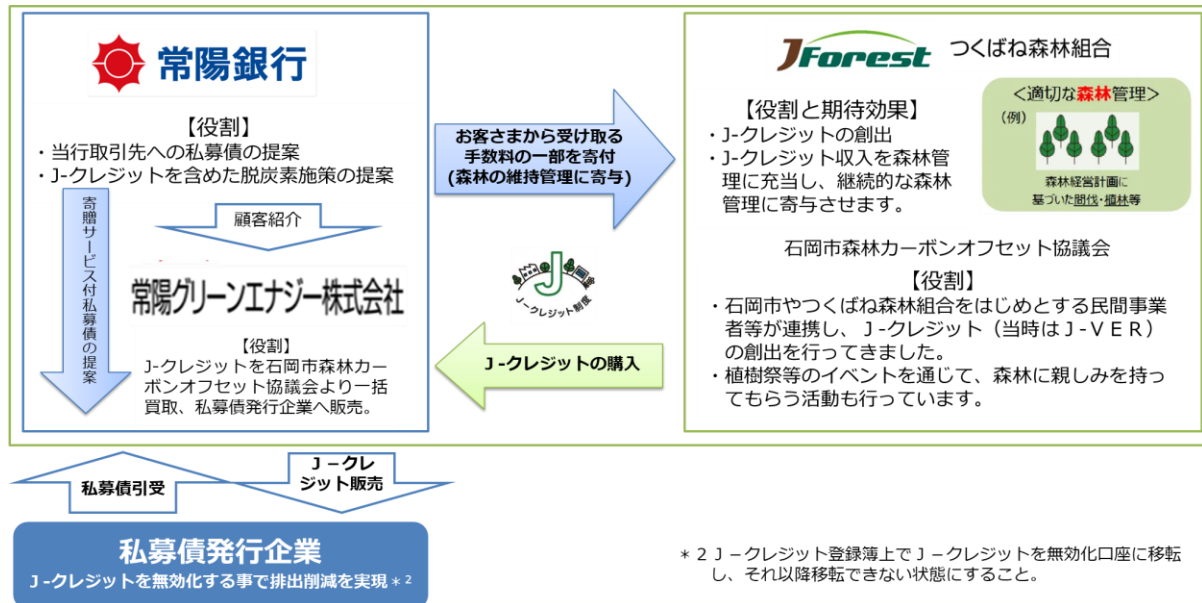
常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、常陽グリーンエネルギー株式会社（代表取締役社長 池田 重人）、つくばね森林組合（以下、「同組合」）および石岡市が推進するカーボンオフセットの取り組みと連携して、J-クレジット購入選択権付私募債の取り扱いを開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

当行およびめぶきフィナンシャルグループは、地域とともにあゆむ価値創造グループを目指し、本年4月よりスタートした第3次グループ中期経営計画において、基本戦略の一つに「地域を支えるビジネスモデルの追求」を掲げ、「事業領域拡大への挑戦」に取り組んでおります。今後ともお客さまの非金融分野も含む多様なニーズに対応することで、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

記

1. 商品の概要

商 品 名	寄贈サービス付私募債（社会貢献応援債）
寄 贈 先	つくばね森林組合（発行金額1億円以上・寄贈額200千円以上）
J-クレジットの種類	森林の適切な管理によるクレジット（森林吸収系クレジット）
J-クレジット購入可能なお客さま	寄贈サービス付私募債（社会貢献応援債）を発行し、寄贈先を「つくばね森林組合」にご指定いただいた法人のお客さま
販 売 者	常陽グリーンエネルギー株式会社
販 売 総 量	約630t
販 売 数 量	1社あたり10t*1程度 *1 10t分のJ-クレジットとは、一般的な事務所（従業員数30～50名程度、延床面積300～600㎡、90～180坪）の「年間排出量」（主に電気料金）に相当し、エアコンの使用時間で換算すると、1日8時間×5台×1,000日分に相当します。
販 売 額	100千円（税抜）/1社（1tあたり10千円（税抜））



*2 J-クレジット登録簿上でJ-クレジットを無効化口座に移転し、それ以降移動できない状態にすること。

<本取り組みの趣旨>

本商品は、寄贈サービス付私募債（社会貢献応援債）を発行したお客さまが、寄贈先として同組合を選択することで、常陽グリーンエナジー株式会社（以下、「JGE」）から J-クレジット*3を購入することができます。

今般の J-クレジットは、同組合が所属する石岡市森林カーボンオフセット協議会（以下、「協議会」）が創出したものです。JGE は、J-クレジットの普及に向けて、協議会が保有している J-クレジットを一括で買い取り、同組合へ寄贈したお客さまに販売いたします。

本商品を通じて J-クレジットを創出した同組合や石岡市が推進するカーボンオフセットの取り組みと連携し、JGE がお客さまへ J-クレジットの販売を行い、カーボンオフセット*4の一手法である J-クレジットの普及に努め、地域のカーボンニュートラルおよび SDGs への取り組みを推進してまいります。

- *3 省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO2 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO2 等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。
- *4 自らで排出削減をしたうえで、それでもなお削減できない部分を、他者が削減したものとで相殺することです。

2. 当行が提供する SDGs 取組支援メニュー

当行は、お取引様に対し、SDGs 取組宣言支援サービスや CO2 排出量の把握、ESG ファイナンスの提案など、SDGs に関するメニューを拡充してまいりました（下図の①および②）。

本取り組みは、お客さまへの SDGs や脱炭素にかかるより実効的な提案として J-クレジット購入選択権付私募債をご提案します（下図の③および④）。



【ご参考】つくばね森林組合の概要

つくばね森林組合は、1957年9月に設立され、石岡市、つくば市、土浦市、かすみがうら市等を管轄している森林組合です。森林組合とは、森林組合法を根拠として、森林所有者を組合員とした協同組合です。

同組合では、組合員から受託した森林における間伐等の整備事業や森林経営計画の作成補助等を主業務としています。また、10年前からJ-クレジット（当時はJ-VER）制度にいち早く取り組み、環境価値の取引を森林整備に活用してきました。

森林は水源涵養、土砂災害防止、温暖化防止等の様々な公益的機能を有しており、同組合はその機能を高め森林生産力の増進を図る事を念頭に置いています。適切な森林管理により、森林を有益な資産として次の世代へ継承していくことを通じた、持続可能な社会の発展への貢献を目指します。

以 上